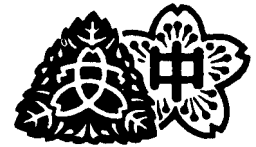


# 東京桑野会会報

●2006年4月1日発行●発行・編集人 古川清●発行所 東京桑野会事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8 YKB新宿御苑804



高橋美希（安高在校生）



No.28



## ご挨拶

東京桑野会会長  
古川 清

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

日本は現在、政治・経済・教育・社会の各方面において大変な変動のさ中にあると言える。戦後60年、いろいろなシステムが妥当性を失い改革を迫られているのである。小泉内閣の構造改革はこの大きな流れを如実に反映している。

ではその変動の核心とは何か。一言でいうと平等主義との決別と競争原理の導入である。戦後わが国の政治・経済・教育・社会の基本原理は「平等」であった。このため小学校の運動会で「駆けっこ」で生徒達が手をつないでゴールに入るなどの奇妙な光景も出現した。「平等」主義は抜きん出る者を防止することを意味する。従って話し合いによって円満に皆が潤う様内部的に工作が行なわれることにもなる。世間ではこれを「談合」というらしい。世界に類を見ない月一回の「新聞休刊日」

なども悪しき平等主義の現れである。休刊日に限って大事件が発生したりする。イラクのフセイン大統領発見逮捕の時もそうだった。マンフィールド元駐日米国大使の故郷モンタナ州と同じ広さの面積に1億2千万人も人口がひしめき合っているのだから（因みにモンタナ州の人口は約90万）皆が安楽に暮らせるためにも平等主義を政策の基本とすることは必要だったと言える。

併しその結果はどうであったか。第一に国は活力を失ってしまった。財政赤字は膨れ上がり、今や国と地方の借金は国民総生産の2年分にもなりつつある。先進国中の劣等生である。中学生や高校生の学力も低下し、その昔世界の注目を集めた「数学」の高いレベルは今や見る影もない。フリーターややる気のないニート

の若者が殖えているのも過度の平等主義に由来すると言ったら言い過ぎであろうか。何れにせよ20世紀末、「話し合い」でぬくぬくとしていた日本にグローバリゼーションの大波が押し寄せ、日本経済のバブルは崩壊、「失われた10年」の悪戦苦渋の日々を送ることを余儀なくされた。

幸い日本経済は漸く回復に向け力強い歩調を取り始めた。これからが正念場である。冷酷とも言えるグローバリゼーションの時代を生き抜くためにはどうしてもあらゆる面で競争原理を大幅に導入することが必要なのである。

競争の時代になれば社会は「ぬくぬく」から多少なりとも「ぎすぎす」に変らざるを得ないであろう。組織も人も守旧的に立ち止れば脱落してしまうので絶えず新しいものを求め改善・改革して行かねばならなくなる。

併し、良く考えてみよう。そもそも社会は競争原理で進歩して来たのである。平等主義の時代においても人は絶えず自己研鑽に励み、企業も切磋琢磨していた。

その様な人が大成し、その様な企業が伸びたのである。吾々が安積で学んだのも校歌や応援歌にある様に「勵み」であり「七州の覇」であり、「競い立て我健男児」ではなかったか。すべて「競争原理」であり「自己向上へのいざない」なのである。向上心を忘れたら人も組織も社会も劣化の一途を辿ることになる。

さて、競争原理の時代における同窓会——東京桑野会の役割はどの様なものであろうか。私は澤田前会長の遺訓「会員の頼りになる」会に向け一層努力することが要請されているのではないかと思う。同窓会は平等主義そのものの集りである。会員となる条件は「安積に学んだ経歴を持つ者」の一点だけであり、会員は皆平等である。従って私は総会の際用意はされているがリボンを着けるのを遠慮することにしてはいる。どうも気持ちが許さないのである。何れにせよ、われわれの東京桑野会がすべての会員の憩いの場所となり、人生の内容がより豊かになるきっかけを与えてくれる集りになる様、お互いに努力して行こうではありませんか。

## 東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を次の通り開催いたします。多数の同窓会員の皆様に参加されますようにご案内申し上げます。

- |      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| ●期 日 | 2006年（平成18年）6月24日（土）                   | ●場 所 | 目白 椿山荘   |
| ●時 間 | 午後5時——受付開始<br>午後6時——総会<br>午後6時30分——懇親会 |      | 東京都文京区関口2-10-8<br>(TEL 03-3943-1101)<br>JR目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅下車 |
| ●議 題 | 1. 会務報告の件<br>2. 予算決算の件<br>3. その他       | ●会 費 | 懇親会費 8,000円<br>(学生は年度会費込み 3,000円)<br>2006年度東京桑野会会費 2,000円    |

東京桑野会は会員皆様の年度会費によって運営されています。

総会当日にご出席出来ない会員の皆様には、同封の振込用紙で年度会費2,000円のお振込みのご協力をお願い申し上げます。

◇準備の都合もごさいますので、出欠の返事は同封の葉書で6月14日迄にご返送下さいますようお願い申し上げます。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、2005年5月20日に開催され、約150名の参加があり盛況でした。

## 母校便り

★母校が共学化して丸5年が経過し、しっかりと定着した感がある。「安積の精神」①開拓者精神、②文武両道、③質実剛健は、確実に受け継がれていると感じる。安積の精神に基づく「教育方針」は、(1)個性を伸長する、(2)知性と情操と実践力を養う、(3)自主自律の精神を養う、(4)質実にして真摯な人物を養成する、という。その教育方針を真摯に受け止め努力する現役生、その目覚ましい活躍ぶりを母校便りに載せました。

★運動系の部活動での、素晴らしい活躍が目立ちました。山田啓太君(119期)が、陸上競技男子やりなげで、全国三冠(全国高校総体、おかやま国体、日本ジュニア陸上選手権)を達成しました。ラグビー部は、第85回全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園)へ福島県代表として出場しました。野球部は、夏の選手権・県大会ベスト4でした。水泳部は、男子女子あわせて8名が全国高校総体へ出場しました。おかやま国体へは、ソフトボール、剣道、水泳で計4名が出場しました。このように、高いレベルの活躍が続いています。

★文化系の部活動でも、素晴らしい活躍が伝えられています。全国高校総合文化祭には、写真、文芸・詩部門、囲碁(団体・個人)、将棋(個人)で計7名が出場しました。将棋部の野口愛さん(120期)は、第14回全国高等学校文化連盟将棋新人大会女子個人の部

で全国5位の成績をおさめました。全国のレベルを知ることは、高校生にとって、大変に素晴らしい経験ですね。

★安積には常に新しい風が吹いています。応援團長には、はじめて女子生徒が就任しました。「誰もが認める團長になりたい」との言葉、その意気やよし。全国高校ラグビー大会(花園)での応援の指揮ぶり実に素晴らしく涙が出た、とは東京桑野会(特別)会員のきらくや村田@75期氏。伝統の応援歌に加えて、新しい応援歌も作成中です。これはキーの高い女子も歌いやすく、かつ、新しい時代を象徴するものという現役生の発案。私も覚えて歌います。安積の風は薫風。

★勉強も頑張っています。進学実績は伸びています(詳しくは母校のHPへ。<http://www.asaka-h.fks.ed.jp/>)。119期生の大学入試センター試験は、文系・理系総合平均点は、東北6県の高校で8位であったとのこと(1位は山形東高)。希望の大学に進めるように、祈っています。

## 会員動向

【役員改選の件】平成17年5月20日開催の定時総会で古川清現会長再任、副幹事長 芳賀雅美(86期)、渡辺政信(88期)、渡部良朋(91期)を新たに選任。会計監査 川井栄一郎(65期)、近内靖夫(69期)退任、大内博文(71期)、関根健治(73期)を選任した。

【訃報】前会計監査 川井栄一郎氏(65期)が平成17年6月12日に逝去され

ました。東京桑野会では大変お世話になりました。ご冥福を祈ります。／前期幹事佐藤義重氏(50期)が平成17年7月27日に逝去されました。(彫塑家、日展会員)／元校長・鈴木勝枝氏(在任期間；昭和48年度～50年度)が平成17年10月4日に逝去されました。／合唱部・吹奏楽部の元顧問 郡司好男先生が平成17年3月12日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

【会員消息】大内博文氏(東京桑野会71期幹事)が、平成17年7月9日付で日本船舶機関士協会・会長に就任されました。益々のご活躍を祈念申し上げます。／廣瀬渉校長 本年3月定年退職男女共学を見事に軌道に乗せた。／昨年9月の総会で、安積桑野会会長は、石川博之氏(63期)が退任し、新たに佐久間崇之氏(69期)が選任された。

【廣瀬校長からのメッセージ】安高生に対する思いを聞くと、「素直で意欲的なところに安高生の魅力を感じます。人に言われなくても行動する、まさしく自主自律という言葉がふさわしいですね。だから安高生にはもっと『自由な校風』の質を高め、互いに切磋琢磨し、次代を担う人間に大きく成長してほしいです。」と話した。



## 人が、季節が、集います。

### 味

#### お食事

伝統の味に季節の彩りそえて

- 料亭・錦水
- 松阪牛和風料理・離れ家
- レストラン・カメラア

### 宴

#### ご宴会

華やかな集いに17の大小宴会場

- 2,500名様までのパーティ、国際会議、ファッションショーなどのお集まりに。
- 最新機能の音響装置。

### 寿

#### ご婚礼

佳き日に永遠の幸せを誓う

- 800名様までの日本料理、フランス料理、着席ご披露宴。
- 庭園での記念撮影も随時お撮りいただけます。
- チャペルでのご挙式も承ります。



CHINZAN-SO  
精山荘  
03-3943-1101



## ご挨拶

安積桑野会会長  
佐久間 崇之 (69期)



昨年9月の桑野会総会で、会長に選任されてしまいました。もとより、その任にあらず、ということは、十分に承知しておりますが、引き受けたからには、歴代会長が頑張ってきた安積の絆を、私なりにしっかりと継続させるつもりでおりますので、御協力をお願いいたします。

会長に選任されてから、種々の行事が続きまして。

11月には、今泉亀徹先生(38期)の白寿祝、原正夫(75期)新市長を励ます会、朝河貫一顕彰会の入来文書出版記念講演会、パーティー等、各期常任幹事を初め、会員の皆様大変お世話になりました。

又、最大のイベントは、昨年、暮の安高ラグビー部の全国大会(花園)への出場でありました。

まだ、最終の決算はまとまっておりませんが、お陰様でいくらかの黒字だったとの報告を受けており、残金は前回同様、ラグビー部強化費に使うことになるとしております。

330名の安高生(女子半数以上)200名の桑野会々員、PTA、花かつみ会の皆様による大声援も空しく14-10で敗れましたが、ゴールキックが3本あり、これが決まっていれば、勝ってい

ました。また、女子応援団長のデビューもあり、応援では完全に勝っておりました。1人当りの平均体重は15kg差、相手校の選手の身体を見て、私は驚き、ムベなるかなとタメ息をついてしまいました。

今年も十分のチャンスがあるとのこと、生徒諸君の健闘を祈るところです。

120周年のあとも、いろいろと募金がつづき、東京桑野会々員の皆様には御負担をおかけし、大変申し訳なく思っております。

桑野会報36号にも書きましたが、安積歴史博物館がピンチなのです。くどくどと述べませんが、年一百万円の運営協力者が少なくなっているのです。

平成14年より、安積桑野会が、安積歴史博物館の運営にあたることになり、桑野会が、安歴博へ不足分を補うことが出来れば良いと考えてましたが、桑野会本部の募金も、昨年は、今までの2/3に減ってしまいました。困っています。

若い方々の桑野会への参加を望んでいます。今年3月に安高を卒業する方々へ、東京をはじめとする、各地桑野会への参加を校内行事の時にお願いするつもりでおります。最後のホームルームでも、担任の先生より、各地桑野会の総会日程等を、お話いただくようお願いいたしております。

どうぞ、あたたかく迎えてくださるようお願いいたします。

((医)佐久間歯科医院 理事長)

## 「安積の風」

安積高等学校 廣瀬 渉

“安積の風”は昨年12月に保護者の方々に発行しました学校だよりのタイトルです。保護者の皆様にも本校の状況を良く知って戴くことが必要であると判断し作成しました。やり投げの山田啓太君の3冠達成、そして、7年振2度目のラグビー部の花園全国大会出場など掲載しましたが、生徒達は文武両面意欲的に取り組んでおります。ラグビー部全国大会出場につきましては、物心両面の絶大なるご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年創立122年目、男女共学6年目を迎えることとなりますが、本校創設以来永年にわたり、熱き情熱を持って先輩の方々が築き上げてこられました安積の精神、校風を根本理念とし、全人教育を目指し、生徒達の更なる成長と活躍のために取り組んでまいります。

多くの先輩が、国内はもとより世界各地で、各界各分野の中心として活躍されております。その活躍の源のひとつに、校風という安積の風があり、素晴らしき人間性を育ててきたのではないかと感じます。

明治23年に発行された校友会雑誌「扶桑の花」の題名は、母校である「桑野中学校」を日本の桑野中学校に高揚しようという遠大な理想に基づいて命名されたと記録されております。そして、第1号から第6号に至る6部を取り揃えて、時の東宮殿下(大正天

☎ 0120-821-110

トランクルーム

家財保管

転勤・改築・建替等

FAXでも受付しています

☎ 0120-856-110

<http://www.wns.co.jp/flower>



おはな

引越センター

本社 東京都府中市白糸台1-23-10

遠藤征志郎  
(72期)

関白振第1782号

皇の東宮時代)の御高覧に供し奉ったとあります。

明治29年発行の「同窓会報告書」第13巻によれば、「興風會の必要を感じるものなり。興風會とは何ぞや。曰く衆生相團結して悪風を矯め汚俗を正し以て隆俗を作り良風を興すを云ふ。」とあり、忠実賢良なる先輩の築きあげたこの良風、隆俗を、安積の校風と為すべく我々後輩たるものは一致団結してゆこうと、「興風會」の設置を呼びかけております。

若き青春の時を、本校生は熱き思いと高い志を持って互いに切磋琢磨し、この安積の地で汗と涙を流し、それぞれの夢に向かって真剣に取り組んで来たのだと思います。

すさぶ風に負けず大空に向かって伸びる松の林、厳然と聳える安積歴史博物館(旧本館)、そして、その中に掲示されております本校1期生から現在に至までのすべての卒業生の写真(戦時中は1部分)など、安積魂の根源は厳存しております。

創設以来、高邁な理想のもとに、錬磨を続けてきております安積の精神を礎とし、これからも、“志高く、人類に貢献出来る有為な人材”を多く輩出出来る学校であるように、全校挙げてより良き安積の風を醸成していきたいと思っております。

今後とも変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、東京桑野会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

## 特集 — 母校分野別講演会

### 「分野別講演会について」

渡部 良朋 (91期)

平成14年度に母校・安積高校が文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(Super Science High School)」に指定され、様々な事業が実施されました。当初、3ヵ年の予定であったSSH事業は、2ヵ年の延長が認められて継続実施中です。

東京桑野会では、母校からの要請により、SSH2年目から母校の事業に協力しております。それがOBによる「分野別講演会」です。SSH予算規模が文部科学省の予算枠削減(どこも厳しいのかなあ)により小さくなった継続1年目(平成17年度)においても、H16年度でも好評であった「分野別講演会」を、現役生の職業観養成を主目的として、別予算を工面して実施することになり、引き続き東京桑野会が協力することになりました。

その「分野別講演会」をより詳細に紹介すべく特集頁を作成し、全体の様子の紹介(母校の資料に掲載された各講師の講演内容等のサマリー)と、OB講師の何名かの方の玉稿を掲載いたしました。では、早速!

(順に、【理・文の類型】①講座番号、②講師(所属)、③テーマと内容)

【理系1】①理・工系(化学)、②角田

欣一氏(85期)、群馬大学工学部応用化学科教授(工学博士)③研究者ってどんな職業—化学者の場合—:将来の職業や大学選択の助けになればと考えて、以下のような3部構成にしてお話しする予定です。1)研究者への道:私の場合を例にとり、安高を卒業して研究者になるまでの道のりを紹介します、2)大学での生活:大学に勤務する立場から、大学(特に理系)はどのような所かを紹介します。また、特に4年生以降の研究室の生活について、私の研究室を例にとって紹介します、3)環境分析化学への招待:私の専門である分析化学はどのような学問か。またそれが環境科学にどのように貢献してきたかについてお話しします。

【理系2】①農学系(食品化学)、②村上昌弘氏(85期)、共立女子大学家政学部食物栄養学科教授(平成14年度まで東京大学助教授)(農学博士)③ヒトはなぜ呼吸し、食べなければならないのでしょうか:ものを燃やすには何が

必要だろうか?—酸素が必要です。ものを燃やすと何が出るだろうか?—二酸化炭素、水蒸気、エネルギーです。私達が呼吸を止めれば、死んでしまいます。酸素が必要です。私達は食べなければ餓死してしまいます。食べ物が必要です。私達の体の中では、ものを燃やすことと同じことが巧みに制御されて起きているのです。食べ物を食べて、酸素で燃やして、体温を維持したり活動に必要なエネルギーを得ているのです。そして二酸化炭素、水蒸気を吐き出しているのです。私達の体の中で起きているこの巧妙な仕組みについて簡単に解説いたします。

【理系3】①理・工系(物理)、②根本孝七氏(91期)、(財)電力中央研究所高エネルギー領域・首席研究員、(兼)東京工業大学客員助教授(工学博士)③工学系(電気、原子力、エネルギー関連)の研究と研究職:1)工学部の主として電気工学系、応用物理系および原子力工学系の研究職・技術職の仕事





の概要について紹介します。2) 私の専門分野のレーザー・光応用関係のトピックスとして、超短パルスレーザーの物理と応用に関する最先端の研究開発の様子について紹介いたします。

【理系4】①医学系、②遠藤泰志氏(95期)、燕労災病院検査科部長(前国立がんセンター医長・兼国立がんセンター研究所支所室長)(医学博士)③癌の診断と研究-胃癌を中心に-：現在、日本では約3人に1人が“がん”で亡くなっています。そして今後も“がん”による死亡率は増加していくことが予想されています。ところで“がん”とはいったいどのようなものなのでしょう。実際に切除された臓器を実際に皆さんに手にとってみてもらい、引き続き“がん”はどのように診断されているのか、そして組織像や細胞像の特徴や遺伝子異常について解説し、“がん”の本質に迫っていきたいと思います。

【理系5】①情報系、②川前徳章(102期)、NTT情報流通プラットフォーム研究所(工学博士)③神様の描いた設計図探し：地学、物理、化学や生物において様々な現象が法則によって説明ができます。高校教育ではこれらの法則について学ぶことになっています。実はこれらの法則は科学一般だけではなく、言語や社会現象にも隠れているようです。我々の住む世界は神様が描いた設計図の上に出来上がっているのでしょうか。そんな設計図を探してみたいと思いませんか？。

【理系6】①理・工系、②渡部良朋(91期)、(財)電力中央研究所 バイオテクノロジー領域リーダー・上席研究員(農学博士)③研究をする人生-環境バイオテクノロジーに取り組む一安積OBの例-：微生物や植物などの生物が持つ多様で優れた機能を利用して環境を保全する技術「環境バイオテクノロジー」の研究開発最前線の様子を解説するとともに、バイオテクノロジー研究者の‘LIFE(いろいろな意味があります；生命、生き物、人生、生活/暮し、活気、実物etc)’について、具体的な事例を紹介します。

【文系1】①法学系、②鈴木修一氏(89期)、弁護士(山田・合田・鈴木法律事務所)③弁護士という仕事：テレビのバラエティ番組などを通じて、弁護士が、以前よりは親しみやすい存在になったようですが、実際の仕事の中身はまだ知られていないと思います。そこで、弁護士がどんな職業なのかを、仕事の遣り甲斐、苦勞、収入面などもふくめ、ざっくばらんにお話します。また、司法改革により、司法試験制度が変わり弁護士の数が大幅に増えます。市民が刑事裁判に関与する裁判員制度も始まります。このような司法改革の概要を解説します。

【文系2】①文、教養系(社会学、情報)②増子昌也氏(91期)、講談社校閲局副部長③「マスコミ」ってどんな仕事？—編集者の頭の中—：「マスコミ」と呼ばれる、新聞、テレビ、出版

の違いや、雑誌や本を創る編集の仕事についてお話しします。「マンガのキャラクターをどう創造するか」「スクープをどのように取材するか」など具体的に紹介したいと思います。

【文系3】①商学系(会計学)②佐々木隆志氏(93期)、一橋大学大学院商学研究科教授(商学博士)③大学で学ぶ会計学とその将来性：2つの内容についてお話ししたいと思います。一つ目は、会計学とは何か、ということ、そしてそれを勉強することがどういう将来につながるか、ということです。二つ目は、「社会科学」とは何か、社会科学の総合大学である「一橋大学」では何が学べるのか、ということです。私は「商学部」で「会計学」を研究・教育しておりますので、そちらの話が中心になりますが、できる限り大学全般の話もしたいと考えています。

高校一年生位ですと、「社会科学」という言葉をあまり聞いたことがないかも知れませんね。「人間の文化を対象とする人文科学(文学・哲学・教育学など)」、「自然を対象とする自然科学(物理・化学・生物学・地学・数学など)」に対して、(きわめておおざっぱに言うと両者の中間に位置する)「社会現象を対象としこれを実証的研究方法によって取り扱う科学」を社会科学と言います。社会科学には、経済学・経営学・政治学・法学・社会学・商学・歴史学・民族学などがあります。

【文系4】①経済学系、②渡邊 聡氏



(98期)、筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教授 (Ph.D.) ③ 学術領域の複合化と研究の国際化：私は安積高校を卒業後、米国大学に進学し、その後ニューヨーク・コロンビア大学大学院において経済学、教育学、数理統計学でそれぞれ修士号、そして経済学博士号を取得しました。学位取得後は、ワシントンDCにある研究所の上席研究員として米国連邦政府や世界銀行、OECDといった国際機関からの受託研究に参加し、またその間にジョンズ・ホプキンス大学大学院において応用数学を学びました。私はこれらの経験から、これからの研究者にとって不可欠なのは、十分な語学・コミュニケーション能力と一研究領域にとらわれずに問題解決法を探る柔軟な姿勢と専門知識ではないかと考えています。

※分野別講演会の対象は1年生で、10名の講師は各自60分×2回の講演を行った。

## 母校の分野別講演会に参加して

角田 欣一  
(85期、理数科2期)

これまでに母校の分野別講演会に講師として3回参加させていただいた。私は、両親も郡山を離れてしまったため、郡山にいわゆる「帰省」する機会もなく、悲壮感こそなかったが、長らく「遠くにありて思う郡山」であった。しかし、年をとったというべきであろう。幸いにも、数年前から、小学校(芳山小学校)の同級会、安高の同級会と次々に声がかかり始め、話が舞い込むたびに嬉々として郡山を訪れるようになっていた。そんな中での母校からのお誘い、お断りする理由は何もない。というわけで、適任者は他にもいらっしゃるに違いないと思いつつも、図々しくも喜んでお引き受けしてき

た。

講演会では、私の、安高卒業時からの研究者を志した経緯や研究者としての紆余曲折、研究内容を交えながら話している。私はごく平凡な研究者生活をおくってきたが、それでもいろいろな人との出会いや転機があった。一方、あそこでもうすこし勇気をもって頑張っていればという反省もある。そこで研究者生活の紹介をベースに、常にambitiousであってほしい、という話をお説教ではなくしているつもりである。しかし、生徒の反応は「微妙」である。熱心に聴いてくれてはいるのだが、どうも、今ひとつピンとこないという雰囲気も感じられる。今後も機会をいただければ何とか工夫していきたいと考えている。

久しぶりに母校を訪れての母校の一番の変化はやはり共学化であろう。講演会で、いつも相手にしている大学生に比べて、まだまだかわいらしい女生徒が熱心に話を聞いてくれるのは大変うれしい。一方、ちょうど、現在、愚息が前橋高校(マエタカ)という地方男子校に在学しており、私の経験した安高生活と実によく似た生活を繰り返している最中であり、息子を通して安高をよく思い出す。一部の級友はそうでもなかったが、息子にガールフレンドのガの字もないのは自分の息子だからしょうがない。対高崎高校戦にファイヤーして学校で頭をモヒカン刈りにしてきたときには安高よりもさらに野蛮と吃驚した。私の安高時代との違いは、マエタカの先生の勉強面での面倒見が実によいことで、これは時代の変化であろうと思われる。安高も、私たちが講師に出かけるぐらいだからやはりそうなのだろうと想像する。先生方のご努力には本当に頭が下がる。男子校時代に個人的な郷愁をおぼえることも事実であるが、共学化はやはり大きな進歩であると思う。安高の新しい文化を、賢い後輩諸君に是非確立して貰

いたいと願っている。

私の勤める群馬大学は、郡山と直線でつながっていないせいか、安高生の進学が少ないのは残念である。将来、後輩諸君、特に女子の後輩諸君と一緒に研究できたらさぞや楽しいであろうと、その機会をひそかに楽しみにしている。

(群馬大学工学部応用化学学科教授)

## 分野別講演会のこと

—大学で学ぶ会計学とその将来性—

佐々木 隆志 (93期)

東京桑野会事務局からのご依頼で、2004年に引き続き、2005年度も安積の後輩諸君の前で話をする機会をいただきました。大学教員という職業柄、若者と接する機会は多く、人前で話すことにも慣れているつもりではあるのですが、母校の教室での、現役1年生相手の分野別講演会ということになりますと、やや勝手が違い、緊張しました。

そういえば前回、四半世紀ぶりに母校を訪れ、建物も教室もあまり変わっていない、などと懐かしく思いながら、3年間、勉強もせずに毎日、放課後に入り浸っていた将棋部の部室前を通ったとき、おそるべきカルチャーショックが私を襲いました。なんと、わが青春の将棋部室が「女子トイレ」に変貌していたんです。思わず、まじまじと眺めて確認してしまい、出てきた女子と目が合いそうになって大あわて。そのまま3分後にはあたふたと講演に突入しましたが、私にとってはこれが、「安積高校共学化」だったといえるかもしれません。男女共学になったとの知識は持っていましたが、強烈な形で実感させていただきました。

さて、講演を聴きに来てくれた1年生は皆、初々しく、部活動と両立する勉強法についての質問などもありまし

た。

私の話それ自体は、勤務先である一橋大学商学部の概要とか、社会科学全般についての解説とかになり、私の専門分野である会計学や監査論についてばかりを話したわけではありません。ただ、会計学は、実践的色彩の強い学問分野であり、公認会計士、税理士や国税専門官のような職業との結びつきも深いので、それなりに高校生諸君も関心をもってくれたようには思います。

現在は、北大、東北大や、早稲田、慶応、明治、中央、青学などが、会計専門職大学院（ロー・スクールに対応するアカウンティング・スクール）を続々開校させている、あるいは開校準備を進めている状況でもありますから、大学院も視野に入れた進路選択といった内容も話しました。私の学生時代には、卒業した大学と異なる大学院に進学するという事は、とりわけ文系の研究者養成コースでは珍しかったと思いますが、現在ではごく当たり前のこととなっています。大学選びが必ずしも最終学歴の確定にならないことのさまざまな意味をお話しできたのではないかと考えています。

講演後、母校の先生方や他の講演者の方々といろいろお話しする機会も頂きましたし、私にとってもとても楽しく、意義深い講演会となりました。関係の皆様方に心より感謝いたします。

（一橋大学大学院商学研究科教授）

## 分野別講演会の感想

根本 孝七（91期）

「『東京桑野会の事務局のY.W君から分野別講演会で後輩に専門分野の紹介をするというお話を頂いた時に、即答で引き受けさせて頂きました。というのは5年前より我が安高も共学になって、女子生徒の職業教育や進路指導のノウハウをどのように構築しているのか、女子生徒がどのような職業観を抱えているかに興味があったからでした。私事で恐縮ですが、私には娘が二人おり、家内が仕事と家事育児の両立に苦勞しているのを見るにつけ、女性の職業や社会進出について考えるところが多々あったからでした。ご存知のように我国は少子高齢化で百年もたったら人口は今の半分になってしまい、しかも高齢者ばかり、労働人口激減という状況の中で日本文化を破壊せず社会を維持するには女性の社会での活躍が必須であることは明白です。また、昨今の規制緩和、自由競争化の中で、安定な職業はほとんど消滅してしまい、このため、どんな家庭でもいつ何時、経済的困難に直面するかもしれないという状況の中で、リスクマネジメントの意味合いからも女性は結婚や出産後も仕事を続け、経済的な安定性を確保することが望ましいと思われまます。このためには女子、男子生徒共どのような準備をしなければならないのか...』、といったことを熱く語り合

いたと思って教室の扉をくぐったのですが、2回の講演のうち、1回目は聴講者の内、女子生徒は3名のみ。2回目は同級生だった野球部監督のT先生（これって匿名になっていないよね。）が気を遣ってくれて運動部男子部員に召集をかけて満席にしてくれたので（ということは聴講者の皆さまのうち女子生徒はゼロ）、臨機応変に「運動部での経験が社会で、特に組織人として如何に役に立つか」、その意義と重要性について切々と説いたのでした。いつになっても同級生は有難いものです。そういえば私の専門は電気工学・応用物理。昔から女子生徒にはさっぱり人気が無かったということをしつかり忘れていました。^^) 一方、タケシ軍団と丁々発止渡り合ったという伝説的豪傑の講談社M.M君の講演は女子生徒に大人気だったというではありませんか。女子生徒はかなりの数がそちらを聴きに行っていたようです。全く迷惑な話です。でも、徹夜明けで母校のために駆けつけたので許してあげるか〜。」というようなことを酒の肴に、その晩、安積国造神社参道の「千年満開」でY.W君、O.M君、T.S君や88期I先輩様ご一行と大いに盛り上がったのでした。ちょっと、後半はロレツが回らなくなったようです。

（財）電力中央研究所

自動車、情報通信、医療・介護の分野で高品質のゴム製品を供給しています。



- ◇創業 1970年
- ◇資本金 4億9422万円
- ◇JASDAQ証券コード5162
- ◇ISO9001認証取得
- ◇ISO14001認証取得

本 社 〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2 tel.048-650-6051(代表) Fax.048-650-5201  
 大阪営業所 〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目12番10号 京橋アドバンス21-205 tel.06-6930-2521  
 福島工場 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地 tel.0248-53-3491 Fax.0248-53-3493

取締役会長 伊藤 巖(65期)  
 監査役 柳沼 晃(65期)  
 顧問 中井 惣吉(65期)



## 司法試験と有神論

佐久間 明彦 (98期)

私が安高を出て21年経つということ  
は、卒業時を起点に、そこまでより倍  
以上生きてきたこととなります。その  
間に本当に様々なことがありました。  
学生時代はとくに目的意識があるわけ  
でもなく、ただ勉強していた気がしま  
す。それでもそのときの勉強が今役に  
立っているのであり、思慮分別の浅い  
若い頃はそんな勉強でも十分意味があ  
るんだと思います。そういうふうにし  
て勉強して何とか入れそうな大学と学  
部を探し、今度は就職に有利という理  
由で大学院に行く。そこで給料、知名  
度等条件のよい会社に入る。そんな感  
じで安高卒業後の10年は過ぎていった  
ような気がします。若いうちはこれでも  
そう問題はないと思うんですが、社  
会人になって何年か経ち、責任ある仕  
事が任されるようになってくるとやは  
り目的意識、もっと大げさに言えば使  
命感のようなものがないと、なかなか  
いい仕事はできないのではないと思  
います。私は会社に入ってもそんなも  
のとは無縁の生活をしてきたため、入  
社3年目位に事実上のリストラに遭っ  
てしまいました。その後2回転職しま  
したがどれもうまくいかなかったのは  
当然なのかもしれません。最後の頃は  
コピーやFAXだけが主な仕事という  
情けない状態でした。何のビジョンも  
なく毎日働いてただ転落していく人生  
に耐えるしかありませんでした。私  
は、なるにはブックス（「～になるに  
は」というシリーズ本）を読みあさり、  
政治家や宗教家になるうかと考え、議  
員会館を訪ねて現職議員と話をした  
り、松下政経塾に体験入塾したり、統  
一教会の事務所や阿含宗の道場に行っ  
てみたりもしました。でもどれも現実  
的ではないと思っていた頃、「司法試  
験合格塾」（伊藤真著）という本が目  
にとまったのです。何気なしにみても

性を無限に広げてくれる」等々とても  
魅力的なことが書かれていて、一気に  
引き込まれました。すぐに88万円はた  
いて著者の塾に入り、しばらくして両  
立は無理と判断し、仕事も辞めました。  
法律の世界は何もかもが新鮮で毎  
日が感動の連続であり、初めは1日14  
時間位夢中になって勉強していたよう  
に思います。それだけやっても1年半  
後の初受験は、短答（択一）試験で全  
く歯が立たず、殆ど最下位で周りのレ  
ベルに愕然とした記憶があります。そ  
こで次は周到な準備をし、徐々に力を  
付けて臨むもやはりダメ。これでもか  
とさらに勉強してもまたはじかれる。  
結局択一4連敗で、5回目に初めて通  
ったときはうれしさの余り、発表会場  
で一人で飛び跳ねてました。でもその  
年の次の関門である論文試験はあと一  
歩のところまで不合格。翌年も択一は何  
とか通るも論文が不合格と知ったと  
き、前年にも増して会心の出来だった  
だけにもう越えられない壁のように思  
えて絶望感でいっぱいになりました。  
それから思い悩んで、もう目が覚めな  
ければいいのにといい気持ちで床に就  
いた夜もありましたが、次の年（平成  
16年）7回目にして合格を果たすので  
す。30歳の時に無職、勉強だけの生活  
に入って実に丸8年が経過してしま  
した。

転機は択一4連敗を食らったあと、  
メンタル面での弱さを痛感して、每晚  
自分が成功した光景をイメージして寝  
るということを繰り返す、潜在意識ト  
レーニングを取り入れたところにあっ  
たように思います。これをするようにな  
ってからは、不思議とマイナス方向  
の思考はしないようになり、このこと  
は本試験でも絶大な威力を発揮しまし  
た。もう一つは、自分が行動選択に迷  
ったとき、神様だったらいずれを推奨  
するだろうかと考えて意思決定するよ  
うにしたことです。この規範で行動す  
ることにより、全てが好転していった  
気がします。私はダーウィンの進化論  
は信じていません。こんなにも精巧な

生き物がアミノ酸の微粒子から自然に  
でき上がっていきなんて考えられませ  
ん。絶対に創造主がいると思います。  
私は骨折等の外傷以外は病院に行か  
ないと決めています。神様が作った細胞  
の機能、力を信じているからです。医  
者は人間ゆえ過ちを犯しますが細胞は  
過ちを犯さないのです。お医者さんの  
功績を否定するつもりはありません  
が、医師自身も「医者が病気を治すの  
ではありません。病気を治すのは患者  
さん自身です。医者はその手助けをす  
るだけですから。」と述べていたのを  
みたことがあります。病気を治すのは  
人間一人ひとりが誰でも持っている自  
分の細胞の免疫力なんだということが  
言いたかったのだと思います。

私は、これからも神様の存在を信じ  
つつ、裁判官の仕事に就きたいと考  
えています。

（第59期司法修習生）

（東京桑野会事務局注：佐久間氏は、  
東北大学工学部・大学院のご出身で楳  
ニコンを経て法曹界へ入られました）

## 花園に吹く生駒風

～安積の冬は熱かった～

橋本 拓樹 (116期)

私は116期。ラグビー部出身。今回  
の花園出場を心から喜んだ。今、自分  
の現役時代前後から振り返ってみ  
たい。

私が入学した時に3年だった114期  
は主将がかなりのイケメンで1年時に  
花園を経験した学年。115期はリーダ  
ーシップ溢れる主将を中心に「変態」  
揃いの多士済々だった。

花園初出場の頃から私が1、2年の  
頃までは、「学生主体で考えるラグビ  
ー」の先輩達同様、主将中心に上級生  
が練習メニューを考え指導・運営する  
体制。日々の練習場所確保も厳しい状  
況だった。

そうして、安高ラグビー部が経験豊  
富な指導者と安定した環境に飢える状



前半12分、中央付近から鋭いステップでタックルをかわすCTB水品

(写真：毎日新聞社より)

安積の大応援団、丹伊田応援団長中央に

(写真：福島民報社より)



況がピークに達した2002年4月。選手・監督として磐城高校で5回の花園出場を果たした吉田伸一監督と、安高92期ラグビー部OBの浜田伸一部長が赴任。ここからラグビー部の環境が激変。現在の基礎が作られる事となった。経験豊富な指導者を得た我々は、まさに水を得た魚。吉田監督による、食生活や受験勉強も含めた私生活にも及ぶ指導をフルタイムで受ける内に、短期間で精神・技術・体力の全面で著しく成長し、強くなって行く実感が湧いた。その為か、116期に受験準備の為に春で引退する選手は一人もいなかった。私も春で引退する事を考えていたが、自分が上手くなる実感、チームが強くなる喜び、成長する後輩への期待。冬まで続ける決心を固めた。しかし、県大会準決勝で平工業に敗戦。当時の平工業は現在に至るまで県内史上最強だった。

117期は私が3年の時より力がありながら、準決勝目前で思わぬ敗戦。

118期は新人戦・県総体と平工業を連破し優勝したが、花園予選決勝で平工業に惜敗し花園への道を絶たれた。119期は吉田監督4年目。氏のスタイルが完全に浸透している現在、選手達は御覧の通りの活躍を見せてくれた。

さて、今回(85回大会)も前回(78回大会)出場と同様、滋賀・八幡工と対戦。滋賀県下1の伝統校で、花園16強レベルの実力を保つ強豪である。花園での試合、風下に立った前半の30分間から安積は、自陣ゴール前に釘付けにされる局面と、敵陣ゴール前に攻め込む局面とが交互にやってくる様な展開。敵陣深くまでボールを持ち込み、後はパスを繋げばトライと言うプレイは安積の方が多かった。一方の八幡工は自慢の重量FWで押し切ろうとするが、軽量ながら安積FW陣の体を張ったタックルでゴールラインを割れなかった。と言うのも安積と八幡工のFW平均体重差は何と20キロ。安積はFWバックス共にそれを微塵も感じさせな

い奮闘振り。試合は安積ペース。トライチャンスを考えると、安積は選手が走って繋いで敵を切り崩したものが多く、八幡工はキックで前進して重量FWにゴール前で勝負させるものが多かったと思う。だが、展開を見れば安積の勝機は十分にあった。トライ数は2-2で同数だが、キック2本の差で10-14の敗戦。大舞台の重圧か、細かいミスが重なり好機を逸した。後一本パスが繋がれば完全にトライと言う形が多く、その一本が繋がらずに惜敗した展開ただだけに本当に残念だった。選手の体感も勝ちゲームのそれだったのでは、と思う。

しかし、やはり負けは負けなのである。詰められなかった内容はともかく、負けの事実は、自分自身、現役当時から痛感し続けたものだ。選手達は本当によくやったと思う。

3年生には花園に出た事、負けた事をこれからの人生の糧にして欲しいと思う。彼等を本当に羨ましく思う。3年間お疲れ様でした。

1、2年生には、この悔しさと3年生の姿を忘れずに、日々精進して欲しいと思う。次の主役は君達だ。W(ダブル)伸一先生と共に、安積を今年も花園に連れて行ってくれ。

(明治大学商学部)

## ホームページ創設 3年目を振り返って

—3年目の活動と  
アクセス状況実績の報告—  
<http://www.tokyo-kuwano.com/>

芳賀 雅美 (86期)

(東京桑野会ホームページ委員長)

当会のホームページは、システム障害などのトラブルもなく無事に3年目を終え4年目に突入しました。会員の皆様には、日頃のご利用に感謝しています。第3年度の1年間にホームページ委員会にて実施しました改訂・追加事項と、会員の皆様の



アクセス状況につきましてご報告致します。

3年目の大きな事業としましては、ホスティングサーバをリプレイスし、プロバイダとの契約容量を大きく増量したことです。このサーバリプレイスにより、従来に比べて高速かつ二重化したことによって、安定で快適なホームページ環境を得ることができました。契約容量も、開設当初の200MBから800MBにまで拡大し、ファイヤーウォールやウイルスチェック機能も強化したため、安全性や通信速度・処理能力も上がっています。

ハードウェアだけでなく、3年目は画面の改造も試みました。メイン頁の上部に表示するロゴタイトルについて、白の二本筋とし徽章も少し大きくしましたが、皆さんお気づきでしょうか。オープニング頁は、アニメーションを採用して変化をつけましたが、いかがでしょうか。少しずつではありますが、改造をしています。

新しいコンテンツとしましては「安積OBクイズ」を開始し、現在30人ほどになりました。追加掲載のご

希望がありましたら、事務局までご連絡ください。なお、写真があれば助かります。

さて当ホームページへのアクセス状況ですが、この原稿を書いております1月までの経過をグラフで示します（別掲の図を参照：2006年1月は見込みの数値です）。のべ閲覧頁数は、昨年の2005年8月30日（火）夜に30万頁を突破し、さらに9月11日（日）正午には、訪問者人数が3万人を越えました。ペースとしましては、開設1年目や2年目よりもかなり早い展開となっています。

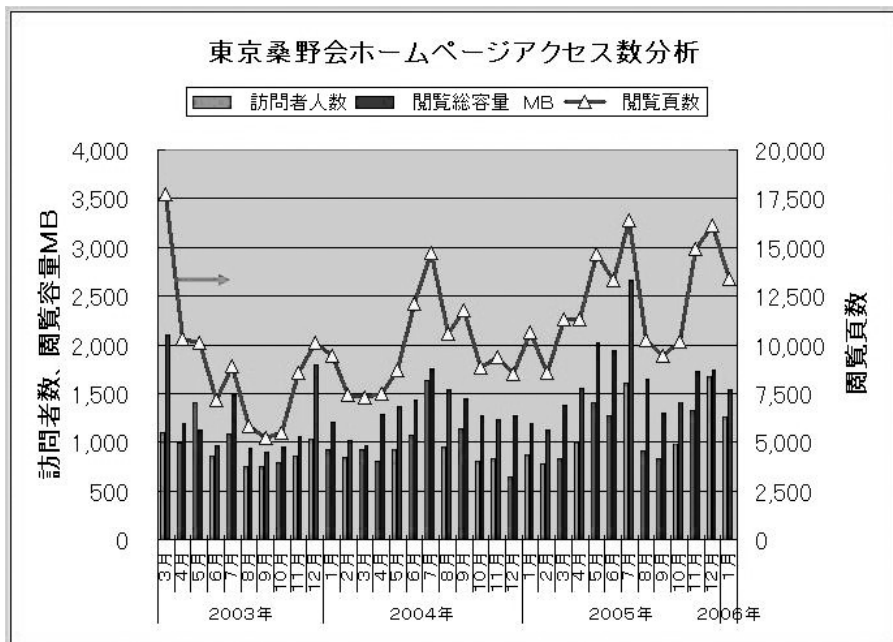
あいかわらず人気の高い頁は掲示板です。しかしながらこれまでの2年間にはなかった「不正な書込み」が目立つようになりました。会員の皆様には注意して頂きたいのですが、出会い系サイト・アダルト画像サイト・正体不明の医薬品やダイエット食品の販売サイトなどにつながるリンクが貼りつけられています。見つけても興味本位でリンクを開けないでください。ワンクリック詐欺やウイルス付着サイトに直接つながっている可能性があります。これは犯罪行為であり全く迷惑なのですが、昨

年の5月ごろから急に始まって、11月には毎日複数の不正な書込みがなされる状態にまで発展しました。管理人の削除作業にも限界を感じたため、プログラムを変更して対応しましたが、いつかまた始まるかも知れません。取り締まる法律の整備が充分でなく、特に海外からの不正な書込みには手の打ちようがありません。ロボットで掲示板を見つけ出し、自動で書込むという手口が主体のようです。

アクセスログにはロボットの痕跡は明瞭に残りますが、通常のアクセスすなわち会員の皆様の閲覧状況についても調べてみました。東京首都圏だけでなく、福島県内や名古屋中京圏、大阪関西圏もかなり多く、海外からは米国・ドイツ・フランス・英国をはじめ南米・中国・台湾・東南アジアからも定期的閲覧があります。米国からのアクセスが比較的多いのですが、米国国防総省・米国軍・米国高等教育機関といった変わった場所からのものがあり、ちょっとびっくり。また以前多かった南アフリカや韓国・グアテマラからのアクセスが全くなり、関係者が帰国または転勤で他の地域に変わったのかもしれない。また、明らかに観光地と思われる場所からのスポットでのアクセスもあり、海外旅行時にホテルのインターネット利用で閲覧しているものと推察されます。たいへんありがたいことです。

不正な輩に掲示板を乗っ取られるのは好ましくありません。会員の皆様に、ぜひもっと掲示板を利用して頂きたいと思います。同窓会でのOB間交流に、サークル活動や催し物の連絡用としてご活用ください。

今後とも会員の皆様のご期待に沿えるよう、充実したページ作りに励みたいと考えておりますので、なお一層のご愛顧をお願いします。



図：東京桑野会ホームページへのアクセス状況

(出光興産株式会社情報システム部)



## 映画「百万人の大合唱」 試写会に参加して

芳賀 雅美 (86期)

平成17年11月14日(月)、東京・日比谷の東宝本社試写室にて映画「百万人の大合唱」を鑑賞する機会を得た。郡山からは石橋理事長を初め郡山青年会議所の関係者ら10名、高島プロデューサを初め音楽家の山本純一郎氏(山本直純氏の長男)、音楽プロデューサなど映画関係者。また郡山でのイベントをバックアップするための制作会社、電通社員2名。東京桑野会からは、斉藤幹事長、増子副会長、高松副会長、芳賀およびこの映画の助監督かつ副幹事長の渡邊隆一郎氏の5名が参加した。当映画は昨年の会報27号で、東京桑野会ホームページの掲示板の話題として披露された、実際にあった郡山市の音楽を中心とした市民運動を題材として、昭和46年に制作された映画である。安積高校や郡山市内各地がロケ地となり、若林豪が安高教諭の役として主演で登場し、主演女優酒井和歌子、助演男優岸田森ら、豪華キャストで撮影された。試写会では、34年も経過していることを全く感じさせない新鮮さで、我々を迎えてくれた。

今回の試写会は、郡山青年会議所が

招へいし2006年秋に開催予定の大イベント「青年会議所全国大会in郡山2006」のメインテーマである音楽事業「ミュージックアトリエ」の一環として、郡山での上映会、さらには映画と同様な市民全員ならびに郡山ゆかりの全国民の参加による音楽会を、各地で開催して中継でつなごうという、壮大な計画の実践を目的として実施された。

昭和46年秋の撮影当時、私は安高在学2年生であり、校門・本館前・本館内部・吹奏楽部の練習場など、校内のあちこちでロケが敢行された際に、そのたびに授業もクラブ活動もそっちのけで、カメラの後側にやじうまとなって見学した記憶がある。17歳の一男子生徒として、まだ若き22歳のアイドルといえる酒井和歌子さんを目の前にし、そのオーラに圧倒されながらもたいへん興奮して撮影を見ていた。思い出も一杯で、感慨深いものがあった。翌年の昭和47年正月に郡山先行試写会、2月から全国一斉ロードショーとなったが、その時に見て以来実に33年10ヶ月ぶりに今回の鑑賞となったのである。

映画はちっとも色あせてなく、ストーリーの奥深さに感激し、判っている結末にもかかわらず感情移入しておもわず涙してしまった。私だけではなく、東京桑野会の先輩方も同様であったと

思う。たったの1時間36分の短い映画であったが、フィルムに映らなかった撮影現場の様子や当時の郡山の街、新幹線のなかった郡山駅、市民の服装(そうそう、若い女性はミニのワンピースが流行っていたんだ。)など、変わらない当時の安積高校の本館の様子と共に、次々と頭に浮かんでくる。ちょっと笑えるのが既に男女共学の高校の設定となっており、安女生のエキストラも一緒に安高の校内で撮影に臨んでいたということ。30年後に実現するなんて、当時は誰も考えてなかったのに先見の明があったのかな。

安積OBはもちろん、県民・市民や郡山ゆかりの方々、たくさんの皆様にぜひご覧戴きたく、当映画の再上映ならびにDVD・ビデオ化を切に望んでいる。

最後になりましたが、当映画に着目してイベントのテーマに採用を決めた郡山青年会議所の山口委員長殿、今回の試写会を設定して戴きました渡邊先輩、快くお引受けして戴きました高島プロデューサ、皆様のおかげでこのような機会を得ましたことに深く感謝し、謝辞としたい。

(出光興産株式会社情報システム部)



カラー作品 百万人の大合唱 新田(若林豪)も、増子(酒井和歌子)も、街のかたすみかいる平凡な一市民にすぎない。自身運の力で、集力団を組織しようなどという大それた考えはなかった。ただ、愛する音楽のために奮闘を覚悟したのだ。映倫



カラー作品 百万人の大合唱 山本直純氏を認め、音楽会の公民館会場内では入場された。新田(若林豪)も、増子(酒井和歌子)も、街のかたすみかいる平凡な一市民にすぎない。自身運の力で、集力団を組織しようなどという大それた考えはなかった。ただ、愛する音楽のために奮闘を覚悟したのだ。映倫

## 映画「百万人の大合唱」の撮影スタッフの一員になった

渡邊 龍一郎 (81期)

2005年11月21日、映画『百万人の大合唱』の撮影監督高村倉太郎さんが亡くなった。享年84歳だった。すでに須川栄三監督は1998年10月に亡くなっている。又音楽の山本直純さん、照明の三尾三郎さん、録音の太田六敏さん、俳優の岸田森さん・草野大悟さん・大坂志郎さん・高品格さんも鬼籍に入られている。

考えてみればこの映画も封切りからすでに34年の歳月が流れているのだが私にとってはつい昨日のように思い出される。

当時日大芸術学部映画学科在学中の私は22歳。1971年の初秋だった。日大闘争を初め学生運動は前年に表立っては収束していた。(浅間山荘事件は半年後・封切り日と重なった)

ある日報知新聞の芸能欄に東宝・近代放映制作映画「百万人の大合唱」の制作を告げる記事が載った。

大学で映画の勉強をしても映画界にすんなり入れる程甘くはないことは充分承知していた。何のコネもないし、まして当時の映画会社は助監督の採用をしていなかった。

どうかして制作現場にモグリこまなければならない。

私はすぐに新聞記事に飛びついた「故郷、郡山が舞台だ!」、しかも監督は野獣死すべし・けものみち・台風とざくろの須川栄三監督、主演は若林豪・酒井和歌子(私と同じ年)。

これはやるっきゃない!なにがなんでも現場に入って見せると・・・。

自信があった。東京のスタッフはロケ地郡山に疎いから、自分が活きる道がありそうだった。だが、勇んでかけた電話の相手の言葉は冷たかった。

「いくら映画を勉強しているからといって素人の学生なんか足手まといで使うつもりはない」

何回も自分は郡山出身で絶対スタッフの役に立つよう働き、ギャラも一切いらぬからと懇願しても(電話番号は聞かれたものの)断られてしまった。

期待が大きかっただけに断られたショックも大きかった。だが映画の神様は救いの手を差し伸べてくれた。呆然としていた次の日近代放映からの電話があり「使ってやるからすぐ来い!」という。やはり、郡山の出身なら何か役にたつだろうと判断されたようだ。

事務所につくと山本直純さん作曲の主題歌が出来たので、その録音テープを郡山の映画の窓口である麓山の郡山公民館に届けてくれとの指示。

上野発の特急で郡山に向かった、そして車中、渡された台本を夢中で読んだ。心臓がドキンドキンとなって痛いぐらいだった。

こうして私は映画「百万人の大合唱」の撮影制作スタッフの一員になった。(株式会社クリーク・アンド・リバー社)

## ホームページ掲示板 よもやま話2

好評でした昨年の記事の続きを紹介します。

映画「百万人の大合唱」掲示板のその後 (レス7からレス23まで)

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演)(No.7)

日時: 2005/03/24 19:55

名前: 金ちゃん@剣道部 89期

はじめて書き込みをします。郡山に在住しております。

以前、東京に住んでいた頃(昭和の終わり)には、東京桑野会で大変お世話になりました。

ところで、今度、私が所属する郡山西ロータリークラブで国際ロータリー創立100周年の協賛事業として、ここで話題となっております「百万人の大合唱」を上映することとなりました。実施要領は以下の通りです。

日時 平成17年4月26日(火)

午後6時開場。

午後6時30分開演。

場所 郡山市民文化センター 中ホール

入場は無料ですが、入場整理券が必要です。入場整理券は、往復はがきにて、往信用裏面に住所、氏名、電話番号、返信用表面に返信先の住所氏名をそれぞれご記入して頂き、〒963-8005 郡山市清水台1-3-8 郡山商工会議所会館402 郡山西ロータリー事務局までお申し込み下さい。返信用はがきに整理券番号を印刷して返信させていただきます。ご不明な点は郡山西ロータリー事務局(024-923-0847)までお問い合わせ下さい。先着800名様限定ですので、定員になり次第締め切らせて頂きますので、よろしくお願い致します。

どうか関心のおありになる方は、是非おい下さい。

映画「百万人の大合唱」→VTRかDVDになりませんか?(No.8)

日時: 2005/03/24 20:36

名前: がっちゃん

金ちゃん@剣道部89期様

郡山西ロータリークラブのお力で、何とかビデオかDVDになりませんか?画質は落ちててもやむ終えませんがぜひご検討ください。

可能性があれば、No.6の渡邊龍一郎さん(助監督)共々メール下さい。

Re: 映画「百万人の大合唱」→

VTRかDVDになりませんか?

(No.9)

日時: 2005/03/24 21:39

名前: 金ちゃん@剣道部 89期

がっちゃん様

実は、配給元である東宝と本作品をニュープリントして購入したいという希望を出して交渉をしていました。当初の計画では、本作品の上映会を行うだけでなく、映画フィルムそのものを購入して郡山市に寄贈して、もっと市民の目に触れやすいようにしたいということで本事業を完結させたいと思っていたのです。ところが、東宝から帰ってきた答えは、「そんなことはしておりません」というつれないものでした。

このような経過からすると、DVD化は無理ではないかと思えます。

もし、どなたかこのような映画会社の壁に風穴を明ける方法をご存じの方がおいででしたら、情報をご提供下さい。

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.10)

日時：2005/03/29 12:00

名前：渡邊龍一郎

81期渡邊龍一郎です。この作品では4th助監督を勤めていたということもあり、今回の上映会に至るお話を伺って何となくお役に立ちたいと思います。

この映画のプロデューサーであり脚本も執筆されている高島久さんに連絡をとりました。彼は今次回作の準備中で奔走されていますが、東宝の担当者に話をしてくれるとおっしゃっていました。

ただこの作品は近代放映という独立プロダクションが制作しており、権利の問題とかで東宝一存ではすまないようです。

そんなわけで以前問い合わせたらつれない返事と言うことだったのでしよう。要はいろいろ面倒なんだということです。ちょっと時間がかかるかも知れませんが地元は結構盛り上がっているとアピールしていけば東宝も動き出すかもしれません。

久さんから連絡が入り次第またご連絡します。

映画「百万人の大合唱」のDVDへの道 (No.11)

日時：2005/03/29 21:21

名前：がっちゃん

金ちゃん@剣道部89期様

頼もしい味方が登場しました。当会の副幹事長@81期の渡邊龍一郎さんが立ち上がりました。4th助監督とは言え、No.6の記事の通り須田監督に絶大なる信頼を得て撮影の主導権を握った先輩です。お任せしてみましよう。

渡邊様、どうぞよろしくお願ひします。

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.12)

日時：2005/03/30 16:43

名前：金ちゃん@剣道部 89期

ありがとうございます。

早速クラブに報告したいと思います。

ところで、本上映会の告知が先週から福島○友新聞を皮切りに、郡山○ビングという流れで始まりましたが、すでに200名を超える応募があります。昨日は地元の福島○央テレビのゴジテレシャトルで告知をさせて頂きました。1両日中には福島○報にも告知記事が掲載される予定です。

前回、郡山青年会議所で上映した際は、このような敏感な反応はなかったように記憶しております。今回の反響には、いささかとまどっております。

今後ともよろしくお願ひします。

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.13)

日時：2005/04/27 00:02

名前：金ちゃん@89期剣道部

本日、無事上映会を終了しました。皆様のご協力がありまして大盛況でした。定員800名のところ、1000名を超える応募がありました。

上映中は、昔の街並みで知っている場所があると場内がざわつき、また知っている人が出ているときはざわつ

き、郡山弁が出ているときは笑いが出て、自分の昔の姿、そして無くなったお母さんが出ていると、涙する方がいらっしやいました。12年前、青年会議所で上映したときよりも感動を憶えた気がします。そして、DVD化はないのかという声も沢山ありました。

近代放映が倒産したため、著作権の所在が曖昧になっていることで、DVD化も、ビデオ化も難しいかも知れませんが、今日のイベントがきっかけとなって良い方向に進めばいいと思っています。

東京桑野会の皆様、ご協力本当にありがとうございます。

Re: 私もぜひ見たかった (No.14)

日時：2005/04/27 17:37

名前：芳賀雅美

平日でなければ・・・

私もぜひ見たかった。私は@86期です。安高ロケの時にちょうど2年生で在学していました。まぢかに酒井和歌子を見て、いなかもんで非常に興奮した記憶があります。若林豪は思ったより小男で顔が黒かったと記憶しています。東京桑野会の副幹事長の渡邊さんが監督に連絡をつけているところですが、著作権の問題が宙ぶらりんになっていて、DVD化が難しいようです。

ここはお任せして、気長に待ちましよう。

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.15)

日時：2005/05/05 10:47

名前：近内めぐみ

4月26日の文化センターの上映会に母と行って来ました。33年前、私は小学校3年生でした。その当時も、母と映画館に観に行きました。山本直純氏が市民会館に来た時ももちろんいきました。

今回の上映会では終始、号泣してしまいました。当時の郡山の町並み、小



学生だった自分との再会、出演している役者さんが、もうすでに亡くなってしまったり…会場内で一番泣いていたのは私かな…

何故、DVDにならないのか、とても残念です。毎年こういう上映会を企画していただきたいと思います。

---

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.16)

日時：2005/05/18 15:07

名前：TUF 安藤

91期 安藤です。私も4月26日の上映会をたまたま行く機会がありまして大変感激し、懐かしく思ったひとりで。たしか、小学校の「映画教室」で見たと記憶しています。

ところで、わたしもこの貴重な映画を何とか後世に残したいと思ひまして、商売上「東宝」さんとはつきあいがあるので連絡をとってみたいところ渡邊さんのおっしゃるとおりの理由でだめでした。もうあきらめようと、思っていた所このHPをたまたま見て大変こころ強く感じました。渡邊さんよろしくおねがいします。

---

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.17)

日時：2005/05/24 16:21

名前：渡邊龍一郎

81期渡邊龍一郎です。上映は大盛会だったとのこと関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

昭和46年の秋、約1ヶ月近くにわたって郡山ロケは今も1コマ1コマ鮮明に残っています。フィルムに焼き付けられた当時の故郷郡山の姿は東京で上映されたときにも、スタッフの一員であるにも関わらず感激したことを思い出しました。あの映画で市民会館前で最初に拍手をして暴力団に抗議する若者は私です。監督の指名でした。

さて、東宝との経緯ですが、須川栄三監督は残念ながら98年に亡くなられ

ていますが、プロデューサーで脚本家の高島久さんが元気です。高島さんが担当者と話をさせていただいたのですが、プリント販売は映画館主保護という観点から前例がないとのことで、話がそこで止まっています。地方での映画に対する思いがひいては映画の振興に役立つことだということを、東宝上層部のしかるべき役員に話をし、役員会議に議題として提案し、結論を出してもらう以外にないとのことで現在方法論を検討中です。

---

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.18)

日時：2005/06/05 08:57

名前：金ちゃん@89期剣道部

渡邊先輩ありがとうございます。

東宝の配給権の範囲内でプリント販売の可能性があるのであれば、製作会社の著作権ということの問題にしないで済むので、話しは単純になると思われます。

今回の上映会で初めてこのような映画があるということを知った市民もかなり多くいるようです。今回、会場に足を運ぶことのできなかった方々のためにも是非ともDVD化、プリント化が実現できればと思っております。

音楽都市郡山を標榜する、当郡山に於いてその歴史に題材を得た映画がないというのも、非常に寂しい思いをしております。また、製作当時、高校生だった方々、小中学生だった方々、このような方々がそろそろ子育てを終えた現在、この映画に対する関心が高まっている時期ではないかと思っております。その結果が、今回の上映会への関心の高まりにつながってきたのではないかと思います。

是非とも、良い結論が出ることを祈っております。

ご尽力頂き、本当にありがとうございます。

映画「百万人の大合唱」の試写会があるって (No.19)

日時：2005/10/31 18:23

名前：がっちゃん

近々、東京都内で映画「百万人の大合唱」の試写会があるって？

平日の午前中らしいけど、見たい人は事務局へ尋ねてください。そっと教えてくれるかも……。会場が狭いので、先着30名さまくらいかな？

東京桑野会ホームページに棲む「妖怪」がっちゃんの独り言でした。

---

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.20)

日時：2005/11/14 18:38

名前：金ちゃん@89期剣道部

渡邊龍一郎先輩、がっちゃん先輩、本日は大変ありがとうございます。

東京桑野会の皆様の後輩に対する暖かい思いがひしひしと感じられました。今後も何かとお世話になるかも知れませんが、後輩のJ Cマンともどもよろしくお祈りします。

J C全国大会での百万人の大合唱の再現、夢のDVD化に向けて頑張りたいと思います。

---

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.21)

日時：2005/11/14 19:30

名前：がっちゃん

金ちゃん@89期剣道部 様

遠路、東京まで来ていただきありがとうございます。山口さんをはじめ郡山J Cの方々もお疲れ様でした。東京桑野会では、来年の全国大会に関して全面的にバックアップしていきたいと考えています。幹事長の斉藤先生が途中で裁判のため抜けてしまいましたが、古川清会長以下、幹事会でも認識しております。

私個人的にも本日の試写会を楽しみにしていました。ほぼ34年ぶりの再会であり、当時17歳安高2年生の自分と

亡き両親の姿が重なり、ストーリーに感動しつつも懐かしい生活を思い出して泣いてしまいました。

ぜひぜひ皆様のお力で、来年の「百万人の大合唱」を成功させてください。微力ながら、ご支援できることは何でもやります。今後ともよろしく願いします。

Re:映画「百万人の大合唱」(若林豪、酒井和歌子 主演) (No.22)

日時: 2005/11/21 23:07

名前: がっちゃん

参照: <http://www.excite.co.jp/cinema/cate/movie?kineid=19647&menu=top>

こっちのサイトも見てね!!

酒井和歌子 主演) (No.23)

日時: 2005/11/21 23:12

名前: がっちゃん

参照: <http://www.walkerplus.jp/movie/kinejun/index.cgi?ctl=each&id=19647>

ついでにこっちのサイトも!!

以上、掲示板内容の紹介でした。

(ホームページ委員会)

Re: 映画「百万人の大合唱」(若林豪、

## 私の仕事

鎌田光明 (94期)

看護職員には、保健師、助産師、看護師、准看護師の四職種があり、現在、併せて約130万人が働いています。この他、資格を持っていない看護職員は約55万人いると推計されています。有資格者で200万人近くになる専門家集団は他に類がないと思えますが、それでも医療の現場では「足りない」との声があがっています。責任の大きさや仕事のきつさの割には経済的にも社会的にも評価が低いといった従前からの課題の他、医療内容の高度化・複雑化、患者・家族の要求の高まりへの対応なども加わり、看護職員の負担は大きくなっています。

特に、毎年5万人を超える看護職員が誕生していますが、その約9%、4~5千人が一年以内に辞めてしまっています。最も大きな理由が「リアリティ・ショック」と言われているもので、学校で勉強したことと実際の医療の現場で経験することとのギャップが大きく、不安から混乱し、自信を喪失してしまうというものです。

「新人なんてそんなもの。どの職場でもある。習うより慣れろだ」という見方もありますが、一つの失敗が命に関わるというプレッシャーは相当なもの。最近、医療事故への関心も高いのでなおのことです。

こうした看護職員に関する問題を解決し、看護職員を量的に確保しつつ、質的に向上させるというのが、現在の私の仕事です。御案内のように、役所の場合、二年に一度程度の割合で異動があり、その都度担当分野について仕組みや課題を短期間で勉強しなくてはなりません(当然のことですが)。でも、苦勞するのが「肌身で理解することです。机の前でふんぞり返っている(そもそも、そんな公務員は問題外ですが)、頭でっかちで、空理空論を唱えることになります。医療や看護など国民生活に密着している場合は、現場感覚からの理解が特に求められます。

無論、私も一患者として医療を受けますので患者としての視点は持てますが(未だに注射は苦手)、問題は看護職としての視点です。レジ打ちや売り子と異なり、試してみることもできません。話を聞いたり、本を読んだりしていますが、専門性が高いが故に隔靴搔痒の感があります。看護師を扱う漫画を読んでパースナルな理解も試みていますが、「リアリティ」とは違います。

もう一つ、「リアリティ」で苦勞するのがあります。看護婦も看護師と名称が変わったように、女性だけの職業ではなくなりましたが、実際には女性がほとんどです。現場で抱える問題も女性であることと関係があったりすることもあり、繊細な理解が必要です。多感な時期を男だけの世界で生きた私には(中学校の同級生の女の子と道で

会っても無視していました)、難題です。おまけに、職場にも看護職が多く、半分が女性です。いい歳をして、時折ごちなさを感じています。

「安高健児は質実剛健」と感じる毎日である。

(厚生労働省医政局看護課

看護職員確保対策官)

## 香港・華南桑野会設立!!

渡辺 剛司 (104期)

香港華南桑野会の設立のきっかけは、2005年1月の福島県人会で、安積OBが多いという話を溝井先輩(87期)から伺った際、「じゃあ、香港桑野会を作りましょう」という、私の酔っ払いのたわごとを聞いてくれた溝井先輩の懐の広さでした。

同年4月に溝井先輩と同期の荻生先輩と私の3名での設立発起委員会を行い(という名の飲み会ですが)、不在投票で熊坂先輩を会長とし、ホームページを私が作成して既成事実のようなものを作ってしまった。

安積高校や安積桑野会などの了承を取り付けるために、安積桑野会の村田先輩や東京桑野会の芳賀先輩にお願いし、メールでの連絡にも関わらず、快く承認していただきました。更に、村田先輩のご尽力により、安積高校の佐久間先生からも承認と励ましのお言葉を頂戴しました。



12月に開かれた香港華南桑野会の懇談会  
於：香港T.S.T. 日本料理「大阪」  
左から  
渡辺剛司(104期)、鹿倉浩一(94期)、熊坂雅彦(会長84期)、溝井正幸(87期)、荻生謙樹(87期)  
敬称略

その間、安積桑野会のMLや東京桑野会や関西桑野会のWEBサイトでのリンクなどでの宣伝もしていただきました。

と、皆様のお力添えを頂戴しながらの誕生ですが、現在のところは8名の会員数です。

香港華南桑野会の具体的な活動としては、

#### ・懇親会

総会や幹事会(という名で飲む)というだけですが、とりあえず、ある程度組織化するくらいに会員が集まるまでは、気軽に集まって昔話に花を咲かせて杯を傾けます。

#### ・寄付活動

ただ飲んでいるだけではありません。今回、安積のラグビー部が全国大会に出場するにあたり、後輩のために、会員の方全てが寄付をするということになりました。香港ドルや人民元や小切手で寄付してください方もおりましたが、後援会では日本円の現金しか受け取れないという当然の事実気づかなかったこともありました。

#### ・会員募集

日本の方からは「海外に同窓会の支部を作るほど卒業生がいるの?」と思われそうですが、100名はいると思います。絶対、いや多分、います。香港と華南には3~4万人の日本人がおりますし、別に日頃から「紫の旗行くところ」を歌いながら歩いている人はいないので、見つからないだけです。

現地のフリーペーパーなどに無料で記事を書かせてもらって、日々宣伝

しておりますので、当面の目標である20名を目指して、頑張っています。

・日本から来た安積OBをお迎えする観光できたり、出張できたりした方があれば、時間をとって現地で一献交わす。当然、OBだけでなく、OGも歓迎します。

皆さん香港や深圳、東莞、広州と常に動いておりスケジュールが合うかどうか分かりませんが、来中、来港される際は、ご一報ください。

いろいろなと考えておりますが、やはり香港華南桑野会は香港、中国という異国の地にあって、世代を超えて、「安積の学生であった」というだけで話が盛り上がるという凄さがあります。

ひょっとすると、単一の高校としては香港華南桑野会は現地での唯一の高校同窓会かもしれません。

「今日、高校の同窓会があるんだ」と会社のスタッフに言ったら「何で香港で日本の高校の同窓会があるの?」と不思議がられた先輩もおります。

「永続的に活動する」という熊坂会長のお言葉のとおり、気を張らず、末永く活動して行こうと思います。

今後とも、よろしく願います。

(株CAP取締役社長)

## 水郡線通学 - その後

安田 正(安高73期 技術士)  
長沼 邑子(安女高12回 薬剤師)

東京桑野会会報のNo.27(2005年4月1日発行)に、安女卒の長沼が「水郡線通学」の一文を寄稿した。

今、手元に一枚の古い写真がある。この写真は、今から46年前の1959年(昭和34年)6月、当時水郡線通学をしていた安女高3年生と安高3年生が交歓会(このような会合を、今は“合コン”と称するとのことである)を行ったときのもので、安女生7人と安高生6人が写っている。長沼がその写真の安女生の一人であることはもちろんであり、後列中央の安高生が共同執筆者の安田である。この写真を撮影したのは安高生であるが、当然ながら撮影者の彼が写っていないのは残念である。

東京桑野会会報No.27に書いた通り交歓会で特に親しくなったわけではなく、ましてその後の付き合いに結びつくような住所の交換などをした訳でもない。卒業後互いの交際・連絡がほとんどなく、消息が分からないまま40数年が過ぎてしまった。写真の存在すら忘れてしまっていた。しかし青春という日々が遠い記憶の中に霞んでしまいそうになった現在の私達にも輝くような青春時代があったことは確かである。「水郡線通学」は夫々の青春を思い起こすきっかけになったのではないかと思う。少なくとも安田にとっては忘れていた空白の40数年前に懐かしさを覚えた事は確かである。

現在は北海道札幌に住んでいる安田は東京桑野会会報を偶然目にし、会の事務局を通じて、長沼に連絡をとってみようと思立った。Eメールという文明の利器のなせる業だったかもしれない。事務局の好意で長沼、安田間の連絡が可能となった。その後、長沼・安田間で交歓会の再現を計画することとなりEメール、電話での連絡は数十回におよんだ。40数年の空白はたった14人の消息をたどるのさえ困難を極めた。特に安高生は仕事の関係からか唯一の頼りである高校の名簿をしても転居などで連絡はとれず、ひと伝えに辿るなどで予想外に時間を費やした。ようやく尋ね当てる事が出来たが残念ながら14人の仲間のうち安高生の1人が大学時代に、安女生の1人は50歳代で



それぞれ早逝している悲しい事実も判明した。残りの12名は東京首都圏6名、地元福島県4名、新潟県、北海道が各1名であった。安田が事務局に連絡したのは会報を目にして間もない4月であったがすでに2ヶ月が経過していた。再会の具体的な詰めのために安田は7月上旬北海道から上京した。安高の学帽姿でない安田と安女の制服を着ていない長沼とが初めて駅で待ち合わせて会ったのだが、お互いを瞬時に認識できたのがなんと不思議だった。

交歓会再現の時期は10月中旬、開催場所は高校時代を共にすごした郡山に決めた。

10月中旬の土曜日、会場の郡山市のAホテルのロビーに集合した。40数年振りの再会であった。それぞれに当時の面影を残しており、お互いの確認に時間は必要なかった。高校の制服姿を一瞬見たような気がしたが、しかし目の前にいるのは60歳を過ぎた白髪が少し目立った大人の仲間であった。時間の経過を意識した瞬間でもあった。長い時間をかけての会食は当時の思い出話、それぞれのその後・現在の生活振りなどの話で盛り上がった。不思議と40年の時間の隔たりは無かった。ついこないだ会ったばかりのような錯覚さえ覚えた。たった3年間の高校生活はその後、それぞれがどんな人生を歩んだかにはまったく関係なく、机を並べて学んだと強い仲間意識があることを実感した。あたかも心の故郷に還りついたような気持ちだった。話は尽きないまま全員が同ホテルに宿泊した。翌日は、全員で安女高（現安積黎明高）、

安高（安積歴史博物館）を訪問見学した。出席者のほとんどは卒業以来の母校訪問であった。校舎の状況、学校周辺の町の様子は大変変わっていたが当時の思い出に浸ることが出来た。安女高、安高の訪問見学は日曜日であったが、両校ともに何人かの生徒の姿を目にすることが出来、彼らと、ほんの少しではあったが言葉を交わす機会にも恵まれた。後で考えてみると、言葉を交わすこととなった相手は安女高（現安積黎明高）では男子生徒であり、安高では女子生徒であった。両校とも共学になり私たちの時代に持った互いの高校に対する違和感も好奇心も憧れもすでに過去のものとなっていた。背中に「ASAKA」と大書されたブルゾンを着た女子高生が清々しかった。

「水郡線通学」の再会を計画し、今再会を果たして感じたことは、当時の安高生と安女生では学校に対する思いや、過ごし方に大きな隔たりがあったことだ。安女生は高校卒業後どんな人生を歩んだにせよ安女を卒業したという事は一様に大きな意味を持ち、大げさにいえば卒業後も何らかの影響を受け続けているような気がする。一方安高生にとっての高校生活は人によって認識に隔たりがあると感じた。多感な青春時代を安高で過ごしたことに大きな意義があったと感じている者、単に大学受験の為の通過点に過ぎないと認識する者、また在る者は生涯の友を得たと深く心に刻み込んでいる者等々である。その違いはその当時の男女間の意識の違いなのか、それとも校風の違うのか定かではないが安女卒業生は

誰もが安女を卒業した事に誇りを持っている事は確かな気がする。

40数年ぶりの再会で意外な事実を知った。言葉を交わしたことは無かったが、水郡線を利用して安女生は安高生の彼らがどこの駅で乗降するのか判っていた。声さえ聞き覚えがあった。関心を持っていたのである。しかし安高生は安女生にはまったく無関心であったという事実である。乗降する駅を知らなかったばかりか制服さえも区別していなかった。独特のフレアスカートと衿なしのブレザーは安高生の目には留まらず、白線2本の学帽姿を意識していたのはどうやら安女生の独りよがりであったようだ。

こうして40年目の再会はドキドキするような事実は何もないままお開きとなったがもっと多くの思い出話を聞き、もっと多くのその後の生き様を知りたいと思った。そのようなことが可能になるのはもう少し後のことであろうか？欠席者も含めて全員に交歓会の報告を送り、再々会の機会を期することとなった。

## 私の青春

安積高女27回生 川瀬芳子  
(旧姓 浦井)

私は大正13年本宮生れ、今年82才になります。昭和16年3月卒業ですから高女の時代は遠い昔になりました。でも、たずねられるままに思い出せるように私の高女のころの記憶を辿ってみましょう。

# 鞍手茶屋

東京で福島のけんちんともちを!!

——昼はそば、夜は酒と肴——

霞ヶ関店 〒100-6001 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル1F 電話 03-3581-7066

大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 電話 03-3213-2385

中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 電話 0249-84-3774

〈店主〉上野富衛（78期）

昭和13年本宮高等小学校から安積高女を受験したのは確か7名でした。全員が合格しました。制服は濃紺のセーラー服で三本のエンジの線があって同色のネクタイをしていました。スカートは寝押しをしてピチッと、靴は黒、鞄も黒で手提げでした。本宮駅7時20分発の上り列車で通学しました、私たちは改札口から近い車輦に乗りました…安中生は朴歯の高下駄でガラコロと集団で歩き一番後部の車輦に乗っていたようです。

四年間も一緒に通学列車だったのに口をきいたり挨拶をしたこともありませんでした。隠れて付き合うという事もなかったと思います。そういわれればロマンスのひとつもあっても良かったのに、でも、あの人が感じがいいわぐらの事はあったように思います。手を握ったりキスしたりはなかったです。言葉に出して「好きよ」とは言わないけれど秘かに好感をもって愛らしきもの恋らしき乙女心といえはそんなところでしょうか。まあ、越えちゃならないところを越えることはなかったようです。今の若い人たちのように、そんなことはなかったようです。

だけど、むしろ安女生同士でね…エス…とって、上級生が下級生を可愛がることはありました。エスって広辞苑ではsister、俗に女学生など若い女性の間の…ってありますが、具体的には「上級生のハナコさんがあなたのこと好きなんだって…」って友だちの口を介して本人の耳に入り、それでハッとして…あの時のあのマナザシが…。私の場合、それが一回だけあって…避

けてきましたけれど、私たち女学生のエスって言うのはとっても純粋なものでそれ以上のイマドキのようなミダラなものはありませんでした。

安中生のことはほとんどわかりませんが、喫茶店に入ることはもとより映画館も禁止されていました。しかし私服で父兄同伴であれば大目にみられていました。制服のままでもし過ちがあれば学校は退学、家では勘当されたでしょう。私が音楽倶楽部にいて帰宅が遅れ、家から学校に問い合わせがあった時などその収拾は大変でした。音楽の先生は市来フメ先生でチンチン千鳥とか早春賦などレッスンしていました。部員は30名ぐらいでした。部活の日は家に着くと8時頃になっていました。郡山駅から開成山間のバスはあったのですが許可になっていなかったのでもつも歩きでした。約20分位かかっていたと思います。本の類は多読の方だったと思いますが「少女クラブ」とか「少女の友」などもよく読みました…父の書棚の吉川文学、「鳴戸秘帖」もおぼえています。

昭和16年3月卒業。私は進学をしてもっと勉強をしたかったのですが、親が女に学問はいらぬ、男の言う事をきかなくなると言って厳しく、したい事、なりたい夢があってもそれは出来ませんでした。でもどんな風の吹きまわしか「花嫁修業」ならと言う事で、家庭科専門の大妻技芸学校に進学しました。しかしそれも東の間、昭和17年5月に結婚話があり学校を一年で中退。

白河でのお見合いの帰路、母に言いました。「あんなだらしのなさそうな

人といやだ…」母曰く、「外側だけ見ではなりません、中味が大切です」相手は25歳。白河中～二高～帝大卒。白緋、いいかげんな帯、下駄、不精面、乙女にはとてもとても…。

しかし日本国は戦時にあって乙女の祈りむなく結婚を急ぎました。急がされた…急がざるを得なかったと言うべきでしょうか。二年後主人は赤紙で応召、仙台の連隊から中国大陸へ出兵しました。21年に帰国するまでは消息も不明のまま主人の白河の実家で過ごしていました。

それからというもの家庭の平和がやっと始まりましたが…今では嫁いだ一人娘を失い、主人にも先立たれて…嫁婿と大学院生の孫に支えられながら一人暮らしをしております。

一人になって寂しくて独り泣きをすることもあります…。モーツァルトを午前と午后に聴いて、聴くことの美しさを心の糧にしています。賢治の絵本も声を出して読む、日本の童謡集も手の届くところにおいて声を出して唱う。

80才にしてはお若いですねと言われるておりますが、90才や95才になっても、お若いですねと言われるように、私なりに、今の青春を謳歌していきたいと思っております。

後記。ある日笑顔のご夫人が私のギャラリーに来られて「こちらのご主人は本宮の方？」との事。その時が川瀬さんとの初対面でした。郷里の話に花が咲き原稿依頼のご縁に繋がりました。

(文書 74期高松 豊)

# 小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3  
TEL 0248-72-1555

# 東京桑野会役員名簿 平成18年4月1日現在

## □役員

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
会長	古川 清	63		
副会長	大津 隆	63		
副会長	水口 禎	67		
副会長兼 幹事長	斉藤 英彦	69		
副会長	増子 邦雄	71		
副会長	高松 豊	74		
副会長兼 副幹事長	櫻井 淳	78		
副幹事長	丹治 則男	81		
副幹事長	渡邊龍一郎	81		
副幹事長	村上 昌弘	85		
副幹事長	坂本 浩一	86		
副幹事長	芳賀 雅美	86		
副幹事長	渡辺 政信	88		
副幹事長	渡部 良朋	91		
会計監査	大内 博文	71		
会計監査	関根 健治	73		
顧問	高瀬 禮二	46		
顧問	吉田 弘俊	52		
顧問	竹花 則栄	55		
顧問	星 武典	58		
顧問	小浜 精吾	58		

## □幹事

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	撞井 保夫	51		
幹事	小宮 茂	53		
幹事	佐久間盛政	54		
幹事	結城 洸	55		
幹事	石川 衛三	57		
幹事	池田 和男	58		
幹事	小針 久	59/60		
幹事	佐藤 啓	61/62		
幹事	村山 俊司	61/62		
幹事	綱沼 直雄	63		
幹事	谷本 滋朗	63		
幹事	渡部 喬一	64		
幹事	本田 保夫	64		
幹事	佐藤 司	64		
幹事	伊藤 巖	65		
幹事	清治 和昭	66		
幹事	橋本大三郎	66		
幹事	横尾 稔	66		
幹事	遠藤 修	67		
幹事	伊藤 泰昭	68		
幹事	青山 掌三	68		
幹事	有我 政彦	68		
幹事	佐藤 廣	69		

## 公認会計士 星 武典 事務所

ムアーズ・ローランド国際会計事務所所属

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-6 共同ビル(錦町三丁目) 6階

TEL 03-3291-8361 FAX 03-3291-8465

E-mail: takenori.hoshi@cac-cpahoshi.jp

星 武典(58期)

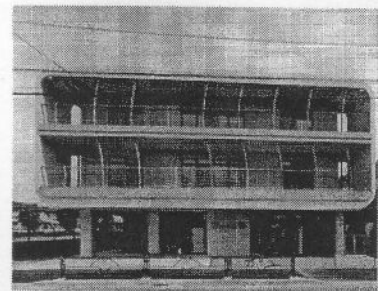


役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	近内 靖夫	69		
幹事	石井 敬治	70		
幹事	矢吹 晋	70		
幹事	渡辺 哲弥	70		
幹事	武藤 勇司	71		
幹事	大和田允彦	71		
幹事	遠藤征志郎	72		
幹事	遠藤 宏司	72		
幹事	菅野 一雄	73		
幹事	武藤 一駿	74		
幹事	伊豆 秀雄	74		
幹事	今川 直人	75		
幹事	柳田 力	75		
幹事	満井 和正	76		
幹事	浅川 章	76		
幹事	藤山 信重	77		
幹事	草野 幸次	77		
幹事	椎野 靖啓	78		
幹事	宗像 良保	78		
幹事	大竹 英雄	79		
幹事	山元 紀美	79		
幹事	上石 利男	80		
幹事	安部 直文	80		
幹事	斎藤 誠	81		
幹事	石井 俊一	82		
幹事	古川 清志	82		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	永山 幸男	82		
幹事	川口 勝広	83		
幹事	小林 伸久	84		
幹事	境 君夫	85		
幹事	本田 宏	86		
幹事	坂路 誠	87		
幹事	富塚 弘之	87		
幹事	大矢 真弘	88		
幹事	鈴木 修一	89		
幹事	有我 明則	90		
幹事	増子 浩重	92		
幹事	斎藤 宏海	93		
幹事	阿部 力也	94		
幹事	鎌田 光明	94		
幹事	藤田 健彦	96		
幹事	佐藤 厚	97		
幹事	小野崎 教	97		
幹事	宗像 孝	97		
幹事	遠藤 昌明	99		
幹事	川前 徳章	102		
幹事	土田 隆弘	105		
幹事	加藤 祐一	105		
幹事	稲垣 直規	106		

**カール** 一級建築士事務所  
ARCHITECT OFFICE

取締役 菅野正広 (91期)  
〒102-0075 東京都千代田区三番町7-2  
ヴィアロイヤル三番町408号  
TEL&FAX 03-5212-3236



特別敬護老人ホームS里

## 編集後記

〇ETCなるものを付けてみた。早速外環道と首都高を試走してみたが、料金所がこんなに刺激的な場所とは思わなかった。システムエラーはないのだろうか。バーが開くまでの瞬間がドキドキもので、エラーともなれば激突。うーん、これってマゾ?

(がっちゃん)

〇イラストは母校美術教員今泉勝行先生(88期)にお願ひしました。生徒たちの作品とともに協力していただきました。どの作品も若々しく輝いていました。感謝。ご寄稿いただきました囲碁倶楽部山本佳さん(58期)ゴルフ倶楽部大内博文さん(71期)の原稿は次号掲載となりました。スママセン。(74期 高松ゆたか)

〇教育の成果が出るには、時間がかかります。成果は単に大学受験とか部活動の結果だけではなく、「人物」そのものであるからです。いい歳をしたOBが、現役生や若いOBのことを気にする、少しは役にたてるかな、たちたいな、と思うのは、今の自分の原型が安高生だった自分にあるからだと思ひます。平成18年2月26日にNHK教育TV「トップランナー」に、箭内道彦(96期)さんが出演されました。NHKの人物

紹介には以下のようにあります。『【クリエイティブ・ディレクター 箭内道彦】2003年に個人事務所「風とロック」を設立し、CMプランナー、ディレクター、デザイナーからプロデューサーまで全てを自分で行う「ひとり広告代理店」として活躍。お笑い芸人が登場し整髪料で見事にカッコよく変身を遂げるCMや「NO MUSIC, NO LIFE.」というコピーが鮮烈な印象を残す大手レコードショップの広告など、話題作を次々と手掛ける傍ら、「CMクリエイターには個性やスタイルはいらない」という持論のもと、クライアントの中にある「思い」を受け止めて作品を作り上げていく異色のクリエイター。』氏は、安積の学校祭を初めて「紫旗祭」とした98周年祭、新世紀創造-安積百年への飛躍-のポスターを描いた人物、とのこと。現在の活躍の源流は、すでに安高生の時にあるのですね。さて、どうやって東京桑野会に引っぱり込もうかな(笑)。(GF91)

〇今年の編集委員のメンバーはかなり若返りました、そろそろ私も退け時かと25年は長過ぎですね。一昨年から、郡山市の景観委員になり、頻繁に郡山に帰ります。帰るたびに見る駅前通りは、現在整備中、まさに郡山の顔となるシンボルロード、広告物の多さや競争の景観郡山らしいと言ってし

まえばですが、道路だけでなく、建築物等の私的空間の連続がその街の景観をつくります。司馬遼太郎が街道を行くの中で、「駅前は、本来なら町の品位の象徴であってもいいのだろうが、日本のたいていの繁華な駅前がそうであるように、ひとの気持ちをやすらげない。ひとつは、駅前空間をとりまく店舗の色彩が、たがいにあくどくきそいあうために・・・」と。映画「百万人の大合唱」はまさに郡山の景観を変えるエネルギーの物語。再上映して景観を変える契機になればと思ひました。

(櫻井淳78期)

『東京桑野会会報』No.28

2006年4月1日発行

発行・編集人●古川 清

発行所●東京桑野会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8

YKB新宿御苑804

齊藤法律事務所気付

Tel 03-3356-6677 Fax 03-3356-6678

E-mail info@tokyo-kuwano.com

URL <http://www.tokyo-kuwano.com/>

製 作●株式会社キタジマ

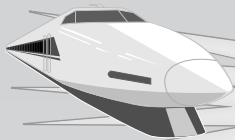
〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel 03-3635-4510 Fax 03-3635-4515

## 東京桑野会の皆様!! 郡山への帰省には

# 「おどろきだね」「大人の休日」の **きらくや**へ

「おどろきだね」「大人の休日」(会員制)はともに《新幹線+宿泊》のJRびゅう商品です。



# “驚値”



# 大人の休日

## 東京⇄郡山の新幹線料金が驚くほど安くなります。

●ご予約は首都圏の駅近くにある、〈びゅうプラザ〉  
〈びゅう予約センター〉へ



KIRAKUNeko

### 磐梯熱海紅葉館

# きらくや

温泉  
本舗

〒963-1309 福島県郡山市磐梯熱海温泉 TEL (024)984-2130  
福島県郡山市磐梯熱海温泉 ホームページ: <http://kirakuya.jp>